

講習会プログラム

■大阪会場(1月9日)

	大会議室(6階)	606	604
9時30分～	受付開始(～15時頃)	(準備)	(準備)
10時～11時30分	リスクアセスメントの基礎と改正安衛法の概要	CREATE-SIMPLE、モデル対策シートの解説	労働衛生保護具、検知管、リアルタイムモニター展示・相談会 (14時45分～15時15分:労働衛生保護具選択ミニセミナー 講演②) (15時45分～16時15分:リアルタイムモニターミニセミナー 講演②)
11時30分～13時	休憩・移動 (11時40分～:リアルタイムモニターミニセミナー 講演①) (12時15分～:労働衛生保護具選択ミニセミナー 講演①)		
13時～14時25分	CREATE-SIMPLE、モデル対策シートの解説	危険性リスクアセスメントツール紹介	
14時25分～14時30分	休憩・移動		
14時30分～16時	GHSラベル・災害事例を活用した安全衛生教育の進め方	検知管を用いたリスクアセスメント手法解説	
16時～16時30分	(準備・質疑応答など)		

■講習会概要(括弧内は、講演予定者名)

リスクアセスメントの基礎と改正安衛法の概要 (みずほ情報総研株式会社 貴志、後藤)	【初心者向け】化学物質のリスクアセスメントについて、基本的な考え方を解説するとともに、改正労働安全衛生法の概要、実測法や推定法について簡単に概要を紹介。
CREATE-SIMPLE、モデル対策シートの解説 (みずほ情報総研株式会社 貴志、後藤)	【初心者～中級者向け】リスクアセスメントの具体的な進め方と昨年度開発したリスクアセスメント支援ツール「CREATE-SIMPLE」を用いたリスクアセスメントの方法について事例を交えて解説するとともに、追加される機能について簡単に紹介。併せて、作業別モデル対策シートの解説と追加される同シートについて紹介。(※一部上級者向けの内容を含みます。) (参考①)CREATE-SIMPLE⇒ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_3.htm (参考②)作業別モデル対策シート⇒ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_6.htm
GHSラベル・災害事例を活用した安全衛生教育の進め方 (みずほ情報総研株式会社 貴志、後藤)	【労働者教育担当者向け】GHSラベルおよび災害事例を用いた労働者教育のポイントの解説と労働者教育資料と使い方を紹介。併せて労働災害事例の収集方法、解析方法についても簡単に解説。 (参考③)労働者教育資料⇒ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161231_00001.html
危険性リスクアセスメントツール紹介 (労働安全衛生総合研究所 島田恭行氏)	厚生労働省のリスクアセスメント指針に述べられた手順に従い、労働安全衛生総合研究所が取りまとめた「火災・爆発等防止のためのリスクアセスメント等の進め方」について、事例とともに紹介。 (参考④)リスクアセスメント等実施支援ツール／実施マニュアル⇒ https://www.jniosh.go.jp/publication/houkoku/houkoku_2016_01.html
検知管を用いたリスクアセスメント手法解説 (光明理化学工業株式会社、株式会社ガステック)	平成28年度厚生労働省事業で作成した「検知管を用いた化学物質リスクアセスメントガイドブック」について、リスクアセスメント手法の概要、考え方の基本について、検知管の使用方法や事例とともに紹介。 (参考⑤)検知管を用いた化学物質のリスクアセスメントガイドブック⇒ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_4.htm
労働衛生保護具選択ミニセミナー (浅沼労働衛生コンサルタント事務所 浅沼雄二氏)	化学物質のばく露を防止するための化学保護手袋など労働衛生保護具の正しい選択方法、着用方法などについて簡単に紹介。
リアルタイムモニターミニセミナー (新コスモス電機株式会社、理研計器株式会社)	化学物質のリスクアセスメントにおける基本的な手法である測定法のうち、簡易な測定法について測定器の使い方を解説するとともに活用方法についても簡単に紹介。

■注意事項

- ・資料は受付にて配布いたしますので、受講者の皆さまは受講票(メール)を受付にまでお持ちください。(受付予定時間:9時30分～15時)
- ・本講習会では複数のテーマを取り扱いますので、受講したいテーマを各自選択のうえ自由に聴講してください。
- ・参考資料(参考①～⑤)は配布致しませんので、必要に応じて各自印刷してご持参ください。(会場に閲覧用の資料は用意しております。)
- ・リアルタイムモニターミニセミナーでは途中専門家による30分程度の全体講演を予定しておりますが、講演時間以外も展示・相談会等を行っておりますので、是非お立ち寄りください。
- ・本講習会では受講証の発行は行っておりませんので、予めご了承ください(講演資料の配布をもって代えさせていただきます。)
- ・交通状況、天候等により当日急遽プログラムが変更になるおそれもございますが、予めご了承ください。

講習会プログラム

■名古屋会場(1月22日)

	(5階)第1会議室	(5階)第2会議室	(5階)第4会議室
9時30分～	受付開始(～15時頃)	(準備)	(準備)
10時～11時30分	リスクアセスメントの基礎と改正安衛法の概要	CREATE-SIMPLE、モデル対策シートの解説	労働衛生保護具、検知管、リアルタイムモニター展示・相談会 (14時45分～15時15分:労働衛生保護具選択ミニセミナー 講演②) (15時45分～16時15分:リアルタイムモニターミニセミナー 講演②)
11時30分～13時	休憩・移動		
	(11時40分～:リアルタイムモニターミニセミナー 講演①) (12時15分～:労働衛生保護具選択ミニセミナー 講演①)		
13時～14時25分	CREATE-SIMPLE、モデル対策シートの解説	危険性リスクアセスメントツール紹介	
14時25分～14時30分	休憩・移動		
14時30分～16時	GHSラベル・災害事例を活用した安全衛生教育の進め方	検知管を用いたリスクアセスメント手法解説	
16時～16時30分	(準備・質疑応答など)		

■講習会概要(括弧内は、講演予定者名)

リスクアセスメントの基礎と改正安衛法の概要 (みずほ情報総研株式会社 貴志、後藤)	【初心者向け】化学物質のリスクアセスメントについて、基本的な考え方を解説するとともに、改正労働安全衛生法の概要、実測法や推定法について簡単に概要を紹介。
CREATE-SIMPLE、モデル対策シートの解説 (みずほ情報総研株式会社 貴志、後藤)	【初心者～中級者向け】リスクアセスメントの具体的な進め方と昨年度開発したリスクアセスメント支援ツール「CREATE-SIMPLE」を用いたリスクアセスメントの方法について事例を交えて解説するとともに、追加される機能について簡単に紹介。併せて、作業別モデル対策シートの解説と追加される同シートについて紹介。(※一部上級者向けの内容を含みます。) (参考①)CREATE-SIMPLE⇒ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_3.htm (参考②)作業別モデル対策シート⇒ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_6.htm
GHSラベル・災害事例を活用した安全衛生教育の進め方 (みずほ情報総研株式会社 貴志、後藤)	【労働者教育担当者向け】GHSラベルおよび災害事例を用いた労働者教育のポイントの解説と労働者教育資料と使い方を紹介。併せて労働災害事例の収集方法、解析方法についても簡単に解説。 (参考③)労働者教育資料⇒ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161231_00001.html
危険性リスクアセスメントツール紹介 (労働安全衛生総合研究所 島田恭行氏)	厚生労働省のリスクアセスメント指針に述べられた手順に従い、労働安全衛生総合研究所が取りまとめた「火災・爆発等防止のためのリスクアセスメント等の進め方」について、事例とともに紹介。 (参考④)リスクアセスメント等実施支援ツール／実施マニュアル⇒ https://www.jniosh.go.jp/publication/houkoku/houkoku_2016_01.html
検知管を用いたリスクアセスメント手法解説 (光明理化学工業株式会社、株式会社ガステック)	平成28年度厚生労働省事業で作成した「検知管を用いた化学物質リスクアセスメントガイドブック」について、リスクアセスメント手法の概要、考え方の基本について、検知管の使用方法や事例とともに紹介。 (参考⑤)検知管を用いた化学物質のリスクアセスメントガイドブック⇒ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_4.htm
労働衛生保護具選択ミニセミナー (浅沼労働衛生コンサルタント事務所 浅沼雄二氏)	化学物質のばく露を防止するための化学保護手袋など労働衛生保護具の正しい選択方法、着用方法などについて簡単に紹介。
リアルタイムモニターミニセミナー (新コスモス電機株式会社、理研計器株式会社)	化学物質のリスクアセスメントにおける基本的な手法である測定法のうち、簡易な測定法について測定器の使い方を解説するとともに活用方法についても簡単に紹介。

■注意事項

- ・資料は受付にて配布いたしますので、受講者の皆さまは受講票(メール)を受付にまでお持ちください。(受付予定時間:9時30分～15時)
- ・本講習会では複数のテーマを取り扱いますので、受講したいテーマを各自選択のうえ自由に聴講してください。
- ・参考資料(参考①～⑤)は配布致しませんので、必要に応じて各自印刷してご持参ください。(会場に閲覧用の資料は用意しております。)
- ・リアルタイムモニターミニセミナーでは途中専門家による30分程度の全体講演を予定しておりますが、講演時間以外も展示・相談会等を行っておりますので、是非お立ち寄りください。
- ・本講習会では受講証の発行は行っておりませんので、予めご了承ください(講演資料の配布をもって代えさせていただきます。)
- ・交通状況、天候等により当日急遽プログラムが変更になるおそれもございますが、予めご了承ください。

講習会プログラム

■東京会場(1月30日)

	(センター棟)101	(センター棟)102	(センター棟)103
9時30分～	受付開始(～15時頃)	(準備)	(準備)
10時～11時30分	リスクアセスメントの基礎と改正安衛法の概要	CREATE-SIMPLE、モデル対策シートの解説	労働衛生保護具、検知管、リアルタイムモニター展示・相談会 (14時45分～15時15分:労働衛生保護具選択ミニセミナー 講演②) (15時45分～16時15分:リアルタイムモニターミニセミナー 講演②)
11時30分～13時	休憩・移動		
	(11時40分～:リアルタイムモニターミニセミナー 講演①) (12時15分～:労働衛生保護具選択ミニセミナー 講演①)		
13時～14時25分	CREATE-SIMPLE、モデル対策シートの解説	危険性リスクアセスメントツール紹介	
14時25分～14時30分	休憩・移動		
14時30分～16時	GHSラベル・災害事例を活用した安全衛生教育の進め方	検知管を用いたリスクアセスメント手法解説	
16時～16時30分	(準備・質疑応答など)		

■講習会概要(括弧内は、講演予定者名)

リスクアセスメントの基礎と改正安衛法の概要 (みずほ情報総研株式会社 貴志、後藤)	【初心者向け】化学物質のリスクアセスメントについて、基本的な考え方を解説するとともに、改正労働安全衛生法の概要、実測法や推定法について簡単に概要を紹介。
CREATE-SIMPLE、モデル対策シートの解説 (みずほ情報総研株式会社 貴志、後藤)	【初心者～中級者向け】リスクアセスメントの具体的な進め方と昨年度開発したリスクアセスメント支援ツール「CREATE-SIMPLE」を用いたリスクアセスメントの方法について事例を交えて解説するとともに、追加される機能について簡単に紹介。併せて、作業別モデル対策シートの解説と追加される同シートについて紹介。(※一部上級者向けの内容を含みます。) (参考①)CREATE-SIMPLE⇒ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_3.htm (参考②)作業別モデル対策シート⇒ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_6.htm
GHSラベル・災害事例を活用した安全衛生教育の進め方 (みずほ情報総研株式会社 貴志、後藤)	【労働者教育担当者向け】GHSラベルおよび災害事例を用いた労働者教育のポイントの解説と労働者教育資料と使い方を紹介。併せて労働災害事例の収集方法、解析方法についても簡単に解説。 (参考③)労働者教育資料⇒ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161231_00001.html
危険性リスクアセスメントツール紹介 (労働安全衛生総合研究所 島田恭行氏)	厚生労働省のリスクアセスメント指針に述べられた手順に従い、労働安全衛生総合研究所が取りまとめた「火災・爆発等防止のためのリスクアセスメント等の進め方」について、事例とともに紹介。 (参考④)リスクアセスメント等実施支援ツール／実施マニュアル⇒ https://www.jniosh.go.jp/publication/houkoku/houkoku_2016_01.html
検知管を用いたリスクアセスメント手法解説 (光明理化学工業株式会社、株式会社ガステック)	平成28年度厚生労働省事業で作成した「検知管を用いた化学物質リスクアセスメントガイドブック」について、リスクアセスメント手法の概要、考え方の基本について、検知管の使用方法や事例とともに紹介。 (参考⑤)検知管を用いた化学物質のリスクアセスメントガイドブック⇒ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07_4.htm
労働衛生保護具選択ミニセミナー (十文字学園女子大学 田中茂教授)	化学物質のばく露を防止するための化学保護手袋など労働衛生保護具の正しい選択方法、着用方法などについて簡単に紹介。
リアルタイムモニターミニセミナー (新コスモス電機株式会社、理研計器株式会社)	化学物質のリスクアセスメントにおける基本的な手法である測定法のうち、簡易な測定法について測定器の使い方を解説するとともに活用方法についても簡単に紹介。

■注意事項

- ・資料は受付にて配布いたしますので、受講者の皆さまは受講票(メール)を受付にまでお持ちください。(受付予定時間:9時30分～15時)
- ・本講習会では複数のテーマを取り扱いますので、受講したいテーマを各自選択のうえ自由に聴講してください。
- ・参考資料(参考①～⑤)は配布致しませんので、必要に応じて各自印刷してご持参ください。(会場に閲覧用の資料は用意しております。)
- ・リアルタイムモニターミニセミナーでは途中専門家による30分程度の全体講演を予定しておりますが、講演時間以外も展示・相談会等を行っておりますので、是非お立ち寄りください。
- ・本講習会では受講証の発行は行っておりませんので、予めご了承ください(講演資料の配布をもって代えさせていただきます。)
- ・交通状況、天候等により当日急遽プログラムが変更になるおそれもございますが、予めご了承ください。